



## ◎会話で頭脳を鍛える

会話というのは、子どもの成長にとってとても大切です。会話には、頭脳を鍛えるためのあらゆる要素が詰まっているからです。自分が話しているときは、「どういう順番で話せば伝わるかな」「どんな言葉を使うと効果的かな」



「どんな質問がくるかな。どう答えたらいいだろう」聞いているときは、「今の話の意味がわからない。あとで質問しよう」「なるほど、そういうことか」「ん？ぼくとは意見が違うな」「今の言葉、いいね。自分も今度使ってみよう」こんなふうに会話中は、話すときも聞くときも、つねに頭がフル回転しています。よって、どんどん会話してください。何でもおしゃべりの材料にして楽しんでください。無駄なおしゃべり、無意味なおしゃべりなどありません。たとえば、家庭で一緒にテレビを観るときも、黙ってただ観るのではなく、おしゃべりしながら観るとよいのです。

## ○家庭でできる、頭脳を鍛える会話

### ～その1～ 「もし〇〇があったら」ゲームのすすめ

家族で、空想の世界で遊んでみるのも楽しいものです。たとえば「〇〇円のお金があったらどうしますか」という問題を一緒に考えてみてはいかがでしょうか。この遊びは、思っていることを具体化していく訓練になります。自分がほしいものがだいたいいくらで、どのくらい買えるのかを計算しながらイメージしていきます。残りの額が少なくなってきたら、「どうしようか、じゃあ、うまい棒買おうか」「うまい棒ならあと250本も買えるね」「ブラックサンダーも買おう！」なんて行って笑い合ったりもします。一見、他愛のない会話かもしれませんが、こういう会話のなかでこそ信頼関係は育まれます。

### ～その2～ Youtube でクイズを出し合おう

見たい動画を検索して見ることができる「Youtube」は、実は子どもに集中力をつける教材として活用できます。おすすめは、CMの映像です。CMの長さというのは、基本的に15秒です。なぜ15秒かというと、人間が何も考えずに集中できる時間の限度がちょうど15秒だからだそうです。それより長いと集中力が切れてしまうため、15秒のなかに伝えたい情報を凝縮させるのだとか。子どもと一緒に、なんでもいいので、CMを検索して観てください。その後、クイズを出し合います。「さっきの部屋、カーテンは何色だった？」「女の子が手に持っていたのは何だった？」というふうにです。集中して観たつもりでも、意外と憶えていないものです。

### ～その3～ 時事ネタを話題にしよう

テレビのニュースや新聞に出てくる時事的な話題についても話し合いのもおすすめです。たとえば、ある事件について、どうしてこんなことが起きたんだろうね、どうしたらよかったのかな、と話し合います。答えなど出なくていいのです。じっくり考え、自分なりの意見を持てることが大切です。時事的な話題といっても、あまり堅苦しく考えなくてかまいません。芸能ネタでも十分いいと思います。

(参考図書「東大合格請負人の子どもの学力がぐんぐん伸びる『勉強スイッチ』の入れ方」)